

FORWARD

第28期中間報告書

平成20年3月1日から平成20年8月31日まで

株式会社 **京進**
KYOSHIN CO.,LTD.



リーチングが、日本の教育を変える。

「学力+人間性の向上」を実現できる技術と習慣を初めて体系化。

●リーチングのカリキュラム紹介●

- 初めに行うことは、「こころのコップを上に向ける」態度教育です。挨拶・整理整頓などの基本姿勢をしっかり身につけます。さらに、生活習慣を改善する行動を考え、次の授業までの期間、実践を続けます。
- 次に、こころをきれいになります。家族や先生、友だちなど、多くの人に支えられて成長することを学びます。
- 「ドリームツリー」で夢を描きます。夢は、未来への希望であると同時に、自分への期待であり、行動のエネルギーになります。
- 最後に、「リーチング目標設定用紙」を使って勉強の目標を設定し、達成のための方法を考えて実践します。本コースでは、全期間を通じて、決めたことをやり切る強い心を育て、毎日、自分と向き合うために「リーチング日誌」を書きます。

京進では今年、中学生を対象とした「リーチング（自立型人間育成プログラム）」の授業を開講しました。「子どもたちが社会に出たとき、自分の夢（目標）を実現（成功）して欲しい。そのためには、「将来何をしたいのか？」「どんな人間になっていたいのか？」を考え、その実現に向かって、毎日を大切に過ごす習慣を体得して欲しい」。そのような願いから、「心・技・体+生活」に着目し、これらの質を高めていく技術と習慣を体得できるよう開発したプログラムです。これまでに、講師研修を延べ約100時間実施し、認定講師数は約250名、10月で受講者も1,000名を突破し、成果が表れ始めています。

リーチング教育、いよいよスタート

(福澤)

昨年から開発してきた「リーチング」の中学生用教材が完成し、4月から一部の校・教室で導入され半年余りが経過しました。すでに受講している生徒自身や保護者の方々から「成果」の声を多くいただき、その速効性に驚いています。秋以降、全校・教室で希望する中学生対象に実施していきますが、リーチング導入について、社長のお考えをお伺いできますでしょうか。

(立木)

当社は創業当初から「学力と人間性の向上」の実現を全社員で追い求めてきました。「学力向上」については他社との差別化をはかれる独自のノウハウを構築し、高い成果を上げてきたと自負しています。また、「人間性の向上」に関しては、「あいさつ」を基本に「トップメッセージ」でお伝えしている内容を全社員が心がけ、生徒の皆さんに接してきました。しかし、体系的な実行には至っていませんでした。今回、リーチングプログラムの完成により、生徒の皆さんが、学力だけでなく“人間性の向上”を実現できる道具を提供できるようになったことは本当に意義あることだと思います。今期中には小学生と高校生向けのプログラムを完成させ、来期は京進に通ってくれる生徒の皆さんの大多数が「夢（目標）実現の技術と習慣」を身につけてくれると思うと、非常に嬉しく思います。

(福澤)

当社の教育理念のひとつに「国際社会で活躍できる人材の育成」があります。今までは高校受験や大学受験の合格をゴールにしてきた感が強いですが、リーチングを習得することで、合格からスタートと言える教育を実現できる企業として世間に認知してもらいたい…と思っています。「自立」を学ぶ

ことで生徒の皆さんの将来に大きく寄与できるのではないのでしょうか？

(立木)

そうですね。「人は心を磨く、魂を磨くために生まれ存在している」と思っています。リーチングはまさに「自分磨き」に最適の手法です。人生には必ず「逆境」に立ち向かわねばならない状況がでてきます。逆境はちょっとした渋滞です。リーチングを学び自立型人間になることで、この「ちょっとした渋滞」を乗り越えるための力を身につけられるのです。何度かの「ちょっとした渋滞」を乗り越えていく中で「大きな渋滞」に立ち向かっていく“こころの強さ”を獲得できると思います。近い将来、京進が「世界で活躍してくれる人材の育成機関」になる、と確信しています。

(福澤)

社長ご自身もリーチングを実践され、どのように感じていらっしゃるんですか？ また、社員にもリーチング日誌を書くよう全員に配布され、奨められていますね。

(立木)

私自身リーチングを始めてから、本当に人の人生を大きく変える力があることを体験しています。目標を立て、それに向かって行動を決め実行していくことは毎日の生活を、そして何よりこころを豊かにしてくれることを、改めて教えてもらった気がします。社員のひとりひとりがリーチングを実践することにより充実した人生を送って欲しい。素直な気持ちでリーチングを実行すれば必ず良



さを分かってくれると考え、リーチング日誌を配布しました。全社員が実践することで、社員同士で切磋琢磨できる、そして生徒の皆さんと同じ言葉でお互いを成長させる環境ができる、京進をそんな場所にしたいのです。生徒の皆さんも社員も「イキイキ、ワクワク毎日を過ごせる」ようになると願っています。

(福澤)

話は変わりますが社長は今後リーチングを強く推し進めていくとともに、京進の進むべき方向としてどのようにお考えでしょうか。

(立木)

世間で“グローバル化”と言われて久しいですが、今まで蓄積してきた指導ノウハウを日本だけでなく、海外への展開という視点で考えていくべきでしょう。また、子どもたちの成長の鍵は「家庭」です。子育てが難しい今の時代、教育に携わる者として「健全な家族への支援」は何とか実現したいものです。この二つは既に新規事業企画室で進められていますね。進捗状況はいかがですか？

(福澤)

いずれも、今期中の稼動を目指し鋭意努力中です。新規事業の性格上、ここで具体的な内容が言えないのは残念ですが。

(立木)

今、京進が大きく変わる時期に来ていることは間違いあり

ません。リーチングにより、生徒・社員が元気になり、その元気が企業を元気にさせてくれるといった好循環サイクルが回り出せば、持続的優位性を創出しながら、皆様の期待に応えられる新たな京進になると考えています。今後とも、ご理解ご協力をいただければ幸いです。

続々と受講者の変化が報告されています

○中2のAさんは毎日の日誌をしっかりと書いています。

1学期の中間テストの際、テストをがんばることについて目標やルーティンに記載し、計画に落とし込み勉強しました。その結果、5科目で初の450点に到達し、やればできる喜びを少し体感したようです。

○Bくんは、授業後、次の週の月曜日に、自分から「記憶コンテストの勉強をしていいか？」と聞きに来ました。「いきなりどうしたの？」と聞くと、「リーチングの授業をやってから、何かわからないが、すごくやる気が出てきた」とのこと。授業前は、面倒くさい、とってしびしが参加した生徒ですが、たった1回の授業での心の変化に驚きました。

保護者からも感謝の声が多く届いています

○中2のCくんのお母様から、「今まで一切なかった家での手伝いを毎日少しずつしてくれるようになった」とのご報告をいただきました。お母様も感激しておられ、意識して「ありがとう」というストローク（励ましの声）を発するようになってきたということです。

○中1のDさんのお母様より感謝の言葉をいただきました。「リーチングがある時は、教室に早く行きたがるようにな

った。日誌などを保護者と一緒にチェックしたりでき、家族の会話も増えました」とのことです。日誌や課題などで毎回成長（記述内容・発言で）を感じています。成績にはまだつながりませんが、以前に比べて勉強の姿勢や明るさは大きく変化しました。

リーチング担当者の声

リーチングが生徒の夢の実現につながってほしい。

リーチングの授業を行う前は、本当に反応があるのか、効果があるのか分からない部分を抱えてスタートしましたが、保護者対象の事前説明会では、説明後すぐに申込みをされる方がいて、予想以上の反応でした。一方、授業を開始してからは保護者から「家でも机に向かう時間が長くなった」など、嬉しい声をいただきました。また、勉強する姿勢が習慣化し始めた生徒の中には、早くも定期テストで高得点をとった生徒もいて、今は日々、効果を実感しています。リーチングが学力向上に一役買い、生徒たちの夢の実現につながって欲しいと思います。

（第一小中部 第1エリア第2ブロック長 水口加緒里）



クローズアップ TOPΣ

チューター制度と万全の学習環境／Vol.2

「現役合格の先輩先生」も 難関大学受験を親身にサポート。

学習塾では数少ないチューター制度を採用しています。難関大学に在籍中の「先輩先生」が自分の体験に基づいて親身にアドバイス。志望大学の実際の姿から、受験勉強の進め方、精神面のケアまで、気軽に頼れる相談相手として、現役合格を全力でサポートします。また、学習環境の面でも、サポートは万全です。じっくり勉強できる教室のフロアに加えて、現役合格の先輩大絶賛の自習室「沈黙思考」は、京都最大級の196ブースもあります。夜10時まで、日曜休日も利用でき、学校帰りに勉強したい人にとっても便利です。



TOPΣ
京都駅前校





自立型人間育成により社会貢献を

28期は「自立型人間育成プログラム～リーチングを柱にした顧客創造と感動創出・従業員の自立と成長」を掲げて取り組みました。「心・技・体+生活」に着目し、これらの質を高めていくスキルを習得できるよう開発したリーチングのプログラムを導入することにより、創業以来の教育理念「学力と人間性の向上」を、より体系的に実践いたしました。学力はもちろんですが、生徒の人間性の向上をはかることも京進の使命だと考え、全社を挙げて取り組んでおります。現在、受講者も1,000名を超え、さまざまな成功事例も出てきております。現在は、中学生を対象とした授業を行っておりますが、来期には、小学生・高校生を対象としたプログラムも導入すべく、開発を進めております。

また、社員もこの「リーチング」に取り組み、自らが学び成長するとともに、生徒の成長に貢献すべく努力をしております。これによって、京進が自己成長を続ける人材であふれ、組織力を高め、また、教育を通じてより素晴らしい社会貢献ができる企業になることを確信しております。

28期中間期の業績

当中間期の教室展開については、小中部で4校（うち小学入試専門校1校）、高校部で1校、個別指導部で2校の新設開校、FC事業部から個別指導部への移管3校、直営化1校を行いました。なお、小中部で1校を活動休止、個別指導部で1校を閉鎖しております。また、個別指導教室「京進スクール・ワン」のフランチャイズについては、4校が新設開校、1校を閉鎖し、68校となっております。

生徒数では、高校部では前年同期比102.8%、英会話事業部で同109.5%と好調な部門もありましたが、全体としては同97.7%と微減で推移しました。結果として、売上高5,598百万円（前年同期比95.9%）、営業損失230百万円（前年同期営業損失400百万円）、経常損失260百万円（前年同期経常損失445百万円）、中間純損失181百万円（前年同期中間純損失449百万円）となりました。

安全トピックス

■ 全社員へのリスクマネジメント研修を実施

当社「安全の日」前後の6月9日、6月11日、6月12日の3日間で、リスクマネジメント研修を実施しました。社外から専門の講師を招き632名が受講、欠席者には後日、動画配信で研修を実施しました。生徒の安全を含め、社員ひとりひとりがリスクと対応について認識を深めました。

■ 研修の目的

リスクマネジメントの理解を深め、全社的に事故等の未然防止を進める。

- 日常からリスクにつながるハザードに注目し、取り除くという意識喚起。
- 特に多くのリスクは、ヒューマン・エラーから起こっているという認識の徹底。



京進トピックス

■ 「京都公立高校展」開催

昨年秋に京都の学区再編が発表されたのを受け、6月1日、京都では初となる「京都公立高校展」を高校部TOPΣ京都駅前校で開催しました。京都府立・市立の33高校に参加いただき、600世帯を超える約1,000名の生徒・保護者が来場されました。今後も、教育を取り巻く環境の変化を捉え、ニーズにあったサービスを提供してまいります。



社会貢献トピックス

■ 6月24日 京進本社にAEDを設置しました。

近年、学校や公共施設など、医療施設以外への設置が広がっているAEDを人通りの多い烏丸通りにある京進本社に設置しました。人が集まる場所では、突然の心停止が発生する可能性も高く、地域への社会貢献として、また、従業員の救命意識を高めるためにも役立てたいと考えております。また、AEDの使用方法や、その他の応急処置のため、消防署による「普通救命講習」を受講した社員が対応できるようにしています。



■ ミャンマーサイクロン・中国四川省地震被害に対する救援募金活動実施

京進各校及び本社において6月に救援募金活動を行い、社員だけでなく、生徒や保護者の方から合計359,828円の真心の救援募金が集まりました。お預かりした救援募金は、日本赤十字社、ミャンマー総合研究所を通じて、寄付を行いました。今後も、「京進は、困っている人がいれば、手を差し伸べる心のやさしい人の集まりでありたい」という思いのもと、大きな災害等が起こった場合は、できうる貢献活動を続けてまいります。

中間財務情報（要約）

■ 中間貸借対照表

（単位：千円）

科目	当中間期 (平成20年8月31日現在)	前中間期 (平成19年8月31日現在)	前期 (平成20年2月29日現在)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	670,827	614,133	698,517
売掛金	559,458	595,042	302,137
たな卸資産	116,601	112,978	98,977
繰延税金資産	152,746	162,672	123,730
その他	217,866	234,741	236,030
貸倒引当金	△ 37,595	△ 36,620	△ 29,772
流動資産合計	1,679,904	1,682,947	1,429,621
固定資産			
有形固定資産			
建物	2,637,662	2,181,123	2,739,527
土地	1,651,614	1,694,618	1,651,614
建設仮勘定	—	507,652	1,200
その他	301,563	387,710	344,357
有形固定資産合計	4,590,841	4,771,105	4,736,699
無形固定資産			
無形固定資産合計	260,679	282,431	285,439
投資その他の資産			
繰延税金資産	676,191	518,425	600,481
敷金・保証金	1,177,930	1,250,746	1,201,035
その他	482,866	439,863	478,736
貸倒引当金	△ 85,130	△ 57,712	△ 82,225
投資その他の資産合計	2,251,857	2,151,322	2,198,028
固定資産合計	7,103,377	7,204,858	7,220,167
資産合計	8,783,282	8,887,806	8,649,789

（単位：千円）

科目	当中間期 (平成20年8月31日現在)	前中間期 (平成19年8月31日現在)	前期 (平成20年2月29日現在)
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	70,303	66,394	61,611
短期借入金	1,050,000	1,390,000	950,000
一年以内償還予定社債	72,000	—	72,000
一年以内返済予定長期借入金	534,364	654,629	659,157
賞与引当金	139,475	296,144	214,099
未払金	570,124	566,575	502,844
未払法人税等	27,855	29,095	52,984
その他	277,582	247,697	226,019
流動負債合計	2,741,705	3,250,536	2,738,715
固定負債			
社債	556,000	700,000	592,000
長期借入金	1,741,379	1,474,452	1,474,549
退職給付引当金	943,654	812,145	879,610
役員退職慰労引当金	202,853	189,124	196,256
その他	14,063	9,111	11,012
固定負債合計	3,457,949	3,184,833	3,153,427
負債合計	6,199,654	6,435,369	5,892,143
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	327,893	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954	263,954
利益剰余金			
利益準備金	41,000	41,000	41,000
その他利益剰余金			
別途積立金	1,310,000	1,310,000	1,310,000
繰越利益剰余金	608,538	475,403	790,036
利益剰余金合計	1,959,538	1,826,403	2,141,036
自己株式	△ 1,413	△ 1,395	△ 1,395
株主資本合計	2,549,972	2,416,855	2,731,488
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	33,655	35,581	26,157
評価・換算差額等合計	33,655	35,581	26,157
純資産合計	2,583,627	2,452,437	2,757,645
負債・純資産合計	8,783,282	8,887,806	8,649,789

■ 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成20年3月1日から平成20年8月31日まで)	(平成19年3月1日から平成19年8月31日まで)	(平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)
売上高	5,598,435	5,838,685	12,162,779
売上原価	4,344,566	4,533,144	8,924,657
売上総利益	1,253,869	1,305,540	3,238,122
販売費及び一般管理費	1,484,097	1,706,505	2,997,492
営業利益又は営業損失(△)	△ 230,228	△ 400,964	240,629
営業外収益	10,289	7,666	18,239
営業外費用	40,125	52,629	107,009
経常利益又は経常損失(△)	△ 260,063	△ 445,926	151,860
特別利益	104,797	—	—
特別損失	120,015	60,544	245,812
税引前当期純損失又は税引前中間純損失	275,282	506,471	93,952
法人税、住民税及び事業税	11,324	13,551	148,108
法人税等調整額	△ 105,108	△ 70,408	△ 107,080
当期純損失又は中間純損失	181,498	449,614	134,981

貸借対照表のポイント

○資産の部において、有形固定資産が前年同期に比べて180,264千円減少しました。また、負債の部において、短期・長期借入金及び社債の合計が、前年同期に比べて265,338千円減少しました。これは、前期に行った高校部TOPΣ京都駅前校等の大規模な設備投資が、当中間期にはなかったことによります。

損益計算書のポイント

○生徒数は、前年同期比97.7%となりました。結果、売上高5,598,435千円(前年同期比95.9%となりました)。
 ○特別利益に賞与引当金戻入益104,797千円を計上しました。
 ○特別損失に減損損失116,788千円を計上しました。これは、15校及び2事業部の建物等について計上処理を行ったものです。

■ 中間株主資本等変動計算書 (平成20年3月1日から平成20年8月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計		任意積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計
平成20年2月29日 残高	327,893	263,954	263,954	41,000	1,310,000	790,036	2,141,036	△ 1,395	2,731,488	26,157	26,157	2,757,645
中間会計期間中の変動額												
中間純損失	—	—	—	—	—	△ 181,498	△ 181,498	—	△ 181,498	—	—	△ 181,498
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△ 18	△ 18	—	—	△ 18
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,498	7,498	7,498
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 181,498	△ 181,498	△ 18	△ 181,516	7,498	7,498	△ 174,017
平成20年8月31日 残高	327,893	263,954	263,954	41,000	1,310,000	608,538	1,959,538	△ 1,413	2,549,972	33,655	33,655	2,583,627

■ 中間要約連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成20年8月31日現在)	(平成19年8月31日現在)	(平成20年2月29日現在)
(資産の部)			
流動資産	1,888,602	1,855,438	1,649,447
固定資産	6,999,856	7,096,501	7,112,264
資産合計	8,888,459	8,951,940	8,761,712
(負債の部)			
流動負債	2,743,884	3,251,652	2,757,204
固定負債	3,457,949	3,184,833	3,153,427
負債合計	6,201,834	6,436,485	5,910,632
(純資産の部)			
株主資本	2,621,081	2,461,758	2,800,314
評価・換算差額等	63,094	51,894	48,503
少数株主持分	2,449	1,801	2,261
純資産合計	2,686,625	2,515,454	2,851,080
負債・純資産合計	8,888,459	8,951,940	8,761,712

■ 中間要約連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	(平成20年 3月 1日から平成20年 8月31日まで)	(平成19年 3月 1日から平成19年 8月31日まで)	(平成19年 3月 1日から平成20年 2月29日まで)
売上高	5,656,278	5,901,077	12,297,455
売上原価	4,383,007	4,576,828	9,005,326
売上総利益	1,273,270	1,324,249	3,292,129
販売費及び一般管理費	1,498,832	1,714,712	3,027,060
営業利益又は営業損失(△)	△ 225,562	△ 390,462	265,068
営業外収益	8,856	6,600	20,825
営業外費用	35,620	46,008	87,211
経常利益又は経常損失(△)	△ 252,326	△ 429,871	198,683
特別利益	104,797	—	—
特別損失	120,181	60,544	245,812
税金等調整前当期純損失又は税金等調整前中間純損失	267,710	490,415	47,129
法人税、住民税及び事業税	16,408	16,469	157,390
法人税等調整額	△ 105,106	△ 70,418	△ 107,069
少数株主利益(△は損失)	202	△ 1,312	△ 852
当期純損失又は中間純損失	179,215	435,154	96,598

■ 中間要約連結株主資本等変動計算書 (平成20年3月1日から平成20年8月31日まで)

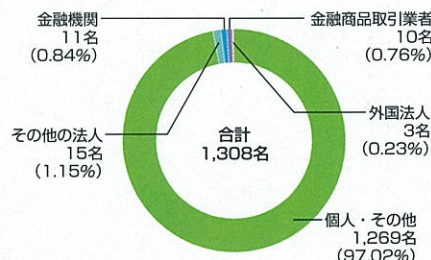
(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成20年2月29日 残高	327,893	263,954	2,209,863	△ 1,395	2,800,314	26,157	22,345	48,503	2,261	2,851,080
中間連結会計期間中の変動額										
中間純損失	—	—	△ 179,215	—	△ 179,215	—	—	—	—	△ 179,215
自己株式の取得	—	—	—	△ 18	△ 18	—	—	—	—	△ 18
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	7,498	7,092	14,590	188	14,778
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 179,215	△ 18	△ 179,233	7,498	7,092	14,590	188	△ 164,454
平成20年8月31日 残高	327,893	263,954	2,030,647	△ 1,413	2,621,081	33,655	29,438	63,094	2,449	2,686,625

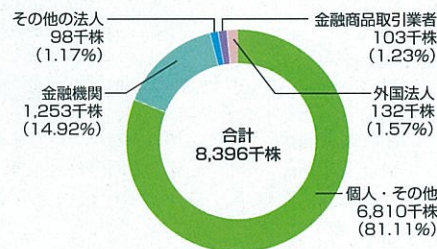
- 発行可能株式総数 22,640,000株
- 発行済株式の総数 8,396,000株
- 株主数 1,308名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
立 木 貞 昭	2,637,600	31.44
京 進 社 員 持 株 会	607,200	7.24
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	342,000	4.08
立 木 泰 子	254,800	3.04
立 木 康 之	254,400	3.03
白 川 寛 治	250,000	2.98
株 式 会 社 京 都 銀 行	208,000	2.48
株 式 会 社 池 田 銀 行	208,000	2.48
株 式 会 社 滋 賀 銀 行	206,000	2.46
石 田 里 実	200,000	2.38

■ 所有者別株主分布



■ 所有者別株式数分布



■ 事業所

(平成20年10月31日現在)

	京都	滋賀	大阪	兵庫	奈良	和歌山	愛知	三重	岐阜	茨城	埼玉	千葉	東京	神奈川	長野	岡山	広島	香川	徳島	福岡	熊本	鹿児島	海外	計	
小 中 部 京 進	31	28	7		6		16		1																2 91
個別指導部 京進スクール・ワン	34	20	35	22	16		16	1			1	2	3	1		1	2	1	1	3	2				161
高 校 部 京 進 高 校 部	6	4	1				1																		12
英会話事業部 エニバーサルキャンパス	2	1																							3
家庭教師事業部 京進プリバータ	1																								1
Net 学習事業部 京進 e - D E S	1																								1
直 営 計	75	53	43	22	22	0	33	1	1	0	1	2	3	1	0	1	2	1	1	3	2	0	2	2	269
FC 事業部 京進スクール・ワン	6	3	12	1	3	1	10	1		1		3	7	8	2	1	3	2	1	2			2		69
京進ブランド計	81	56	55	23	25	1	43	2	1	1	1	5	10	9	2	2	5	3	2	5	2	2	2	2	338

※上記には、子会社ドイツデュッセルドルフ校、中国広州校を含んでいます。香港校については、平成20年3月より事業活動を休止していますので、上記には含んでいません。

株主メモ

- 事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 - 定時株主総会の基準日 2月末日
 - 期末配当の基準日 2月末日
 - 中間配当を行う場合の基準日 8月31日
 - 定時株主総会 5月
 - 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 - 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
 - 郵便物送付先 大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 - 電話照会先 0120-094-777
- 株主関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
- 電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪証券代行部）
- インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 公 告 方 法 電子公告
(当社ホームページ <http://www.kyoshin.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概況 (平成20年8月31日現在)

- 商 号 株式会社京進
KYOSHIN CO., LTD.
- 本社所在地 〒600-8177
京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1
Tel. 075-365-1500 (代表)
- 創 業 昭和50年6月
- 設 立 昭和56年4月 2日
- 資 本 金 327,893千円
- 役 員 代表取締役社長 立 木 貞 昭
専 務 取 締 役 白 川 寛 治
取 締 役 土 坂 義 高
取 締 役 高 橋 良 和
取 締 役 樽 井 みどり
取 締 役 福 澤 一 彦
常 勤 監 査 役 福 盛 貞 蔵
監 査 役 中 元 視 暉 輔
監 査 役 尾 川 宣 之
- 従 業 員 744人
(出向社員8人を含んでおります。)

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kyoshin.co.jp/>



本社 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1
TEL 075-365-1500(代表) FAX 075-365-1511(代表)